



Lions Club 332-E地区機関誌

Lion

最上川

No. 2

2025~2026



第107回オーランド国際大会にてL.横山昭子ガバナーとL.安孫子英彦前地区ガバナー

◆ガバナー・テーマ

Unite for the Future! (未来に向かって、心を一つに!)

◆アクティビティ・スローガン

相互理解の精神で広げる奉仕の輪・人の和

第107回国際大会 in オーランド

地区ガバナー L.横山 昭子

2025年7月13日～17日に開催された、第107回オーランド国際大会に参加してきました。直行便もない、遠いアメリカ・フロリダ州で開催された国際大会でしたが、332-E地区からは、14名の参加者がありました。332複合地区のガバナー・エレクト達は、アメリカ・ニューワーク空港乗り継ぎのユナイテッド航空を利用しましたが、ニューワーク空港からオーランド空港の便が3時間遅れて、オーランドに到着したのが午前4時頃。ホテルに向かい、1時間だけ仮眠を取った後、朝からガバナー・エレクト研修に参加しました。今年の2月、アメリカ・シカゴのQセンターで3日間の研修があり、国際大会は4日目の研修になります。AP.シン国際第一副会長からのジェネラルセッションの後、日本語クラスに分かれての研修。研修の最後に修了証をいただき、ガバナーに向けての研修は全て修了することができました。その日の夜は、ガバナー・エレクト祝賀晩餐会です。通常ですと、黒タキシードやドレス着用のフォーマルな晩餐会らしいのですが、今回は、AP.シン国際第一副会長からプレゼントされた、派手なシャツを着用してのカジュアルスタイルです。歌あり、ダンスありのパーティーで、みんなで大いに盛り上がりました。

7月14日はインターナショナル・パレードです。今年は、332複合地区から田名部国際理事候補が選挙に出るので、332-E地区からも国際理事候補のバナーを持つ係やお手伝いなどのご協力をいただき、インターナショナル・パレードを盛り上げました。午後からは、日本語セミナーに参加し、来期の国際協会情報などを収集してきました。

7月15日は、代議員朝食会から始まり、国際大会開会式、そして、国際理事選挙・代議員投票が行われました。夜は、332複合の夕べが開催され、ガバナー・エレクトとして挨拶もさせていただきました。

7月16日は、国際大会2日目のLCIF関連の総会。そして7月17日は、国際大会閉会式。AP.シン国際会長が就任した後、我々は新国際会長に宣誓をします。その後、安孫子前ガバナーにエレクトリボンを外していただき、無事に332-E地区ガバナーに就任することができました。332-E地区から参加してくださった皆さんから祝福していただき、感激の瞬間でした。

閉会式の夜は、332-E地区の夕べを、地元のステーキハウスで開催していただき、参加者と一緒にお祝いをすることができました。

私にとって、第107回国際大会は、一生忘れることのない国際大会になると思います。

第107回オーランド国際大会紀行

第一副地区ガバナー L.無着 哲哉

今年の国際大会は米国フロリダ州オーランドにて7月13日～17日開催されました。

日本の裏側にあるにも関わらず332-E地区からは10数名の参加をいただきました。

出発当日同じ便が取れなかった為、別々の経由地の3便に分かれて現地にて多少の遅れはありましたが無事に到着することができました。

大会初日の朝8時、恒例のインターナショナル・パレードが開催され、日本からは332-A地区のL.田名部智之・334-E地区のL.仁科良三両名が国際理事に立候補したこともあり赤いアロハシャツを着て約800名の参加があり華やかに行進されました。この行進は他国とくらべてもかなりの大隊列となり、目を惹くものとなりました。

15日には、日本ライオンズ主催による恒例の代議員朝食会が開かれ、代議員による投票手順などの説明が行われ、その後オレンジ・カウンティ・コンベンションセンターにて開会式が行われ、各国の国旗によるフラッグセレモニー、平和ポスター・作文コンテストの受賞者紹介、そして国際会長L.ファブリシオ・オリベイラによる年次報告が発表されました。

また、332-複合地区主催の332複合の夕べも開かれ東北は一つの合言葉で和気藹々と交流を深めました。その中で2023～2025国際理事L.濱野雅司よりL.田名部国際理事立候補への激励の言葉も頂きました。

最終日の17日には閉会式が行われ、2年目を迎えた「ミッション1.5」の活動報告および表彰が実施され、次回開催地である第108回中国・香港国際大会への大会旗の引継ぎも行われました。

最後に、選挙結果が発表され、第三副会長に、オーストラリア出身のL.トニー・ベンボウの当選した報告があり、新国際会長にインド出身のA.P.シンが就任し、熱い思いを話され各国のガバナーエレクトのエレクトリボンが外され、世界各国のガバナーが誕生し、熱気に包まれた第107回オーランド国際大会は盛会のうちに幕を閉じました。

私共の332-E地区からは、L.横山昭子ガバナーが誕生し、ガバナーチームとしてこれから332-E地区の為に邁進していくことを誓いあいました。

第107回国際大会 in オランダ

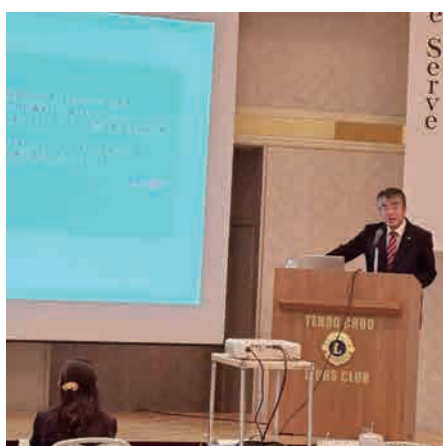


GST 会員満足度セミナー

GSTコーディネーター L. 松 山 宏 一

去る9月4日天童市天童ホテルにて「会員満足度向上・献血献眼推進合同セミナー」を開催いたしました。各クラブ会長はじめ約90名の会員の皆様にお集まりいただき、講師に元地区ガバナー・名誉顧問吾妻正章氏をお招きし、2部構成にてご講演いただきました。

初めに天童中央LC・新庄もみの木LC・鶴岡ナイスフェローLCの3クラブの代表の方より日頃の奉仕活動・例会の様子など事例発表していただき各クラブとも工夫を凝らし退会防止つなげていたと思います。他クラブのやり方・運営方針など参考になったと思います。



続いて吾妻正章元地区ガバナー・名誉顧問による会員満足度向上セミナーではライオンズクラブの歴史や役員の役割など基本から始まり、会員の相互理解や例会出席率の向上による退会防止策までご講演いただきました。パワーポイントを使っのわかりやすい内容でありました。休憩をはさんで第2部では献血献眼推進のご講演をいただきました。今回は吾妻正章元地区ガバナー・名誉顧問が複合の献血献眼推進委員長も務めており、GSTと献血献眼推進委員会との合同での開催といたしました。献血の重要性・献眼の必要性などご講演いただきました。ヘレンケラーとの約束等ライオンズとの歴史から1万人献血のお願いまで社会奉仕としての求めにいかに対応していくかなどお話をいただきました。

貴重な時間今回参加されました皆様には、是非クラブにてご報告いただき、これからの運営の一助になれば幸いです。



尾花沢ライオンズクラブ結成55周年記念式典

会 長 L. 鈴 木 治 久

2025年9月21日、尾花沢市文化体育施設サルナートにおいて、尾花沢市長 結城 裕様をはじめ多くのご来賓の皆さまと、332-E地区 横山昭子ガバナーをはじめ各地区ライオンの皆さまのご臨席をいただき、尾花沢ライオンズクラブ結成55周年記念式典と祝賀会を開催いたしました。



前回の周年式典は2020年、コロナ禍の真っ只中でした。当クラブにとって50周年という記念すべき年でしたが、式典行事は中止となり、今回が10年ぶりの記念式典となりました。

今回の記念事業といたしまして、尾花沢・大石田少年少女発明クラブにノートパソコン3台を寄贈いたしました。発明クラブは小学3年から6年生を対象に、地域企業が講師となってプログラミングや工作、化学実験など通して「未来のエジソンを育てる」というテーマのもと活動しています。当クラブとしても地域の子供たちが未来に羽ばたき、世界に誇れる技術者として活躍できるよう期待しております。



尾花沢ライオンズクラブは、村山ライオンズクラブのスポンサーにより1971年に結成され、これまで青少年の健全育成、環境保全、福祉支援など地域に根ざした奉仕活動を続けてまいりました。しかし、発足当時から半世紀が過ぎた今、少子高齢化や人口減少など、地域を取り巻く環境も大きく変化し、私たちの奉仕活動も新しい形が求められていると感じております。またその反面、地域の根幹となるような奉仕活動も継続的に行うことが大切だと思います。これからは、地域のニーズを的確に捉えた新たな奉仕、よき伝統を守る継続的な奉仕をバランスよく行っていくことが必要だと考えております。

本日の式典を新たな出発点といたしまして、ライオンズクラブの永遠のテーマ「We Serve ― われわれは奉仕する」この精神をいつも胸に秘め、会員みんなで新しい発想を取り入れながら、心を新たに活動を進めてまいりたいと思います。